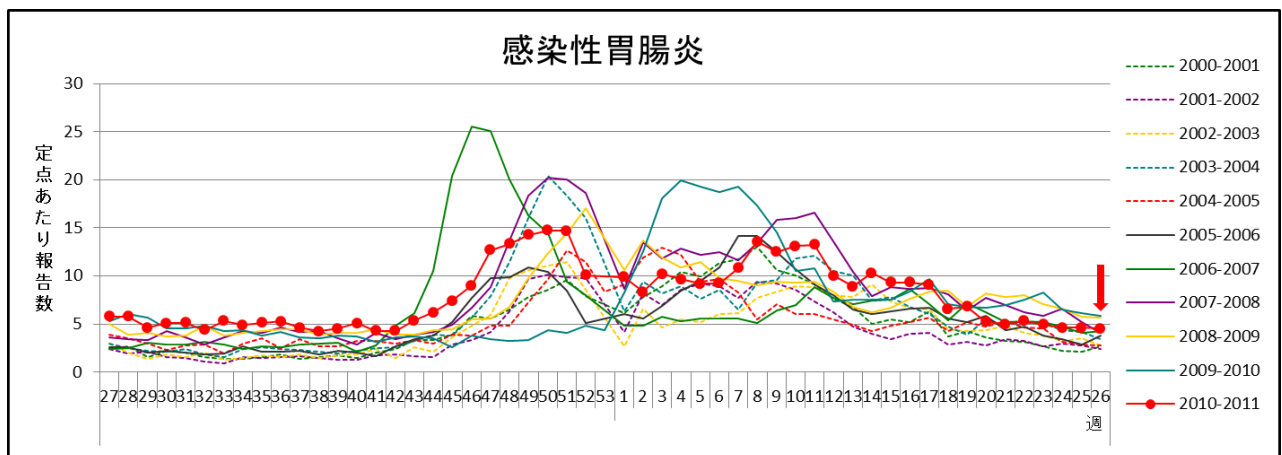


感染性胃腸炎情報 2011 年 第 26 週 (6 月 27 日 ~ 7 月 3 日)

第 26 週 (6 月 27 日 ~ 7 月 3 日) の県内定点医療機関 (54 定点) からの患者数は、ほぼ横ばい状態でした (249 → 243 人 定点あたり 4.61 → 4.50 人)。倉敷市 (4.73 → 4.00 人) では発生が減りましたが、備前地域 (6.20 → 8.00 人)、備中地域 (2.71 → 3.00 人) では発生が増えています。

梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎にも注意が必要です。岡山県では現在『[食中毒注意報](#)』発令中です。食中毒予防の三原則は『食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」』です。食品の取り扱いには十分気をつけ、手洗いを励行するなどして感染予防に努めましょう。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。